

第37回 日本骨折治療学会のご案内

第37回骨折治療学会を平成23年7月1日、2日の2日間、パシフィコ横浜で開催いたします。今回の学会のテーマは「安全・安心の骨折治療 (Safe and reliable treatments of fractures)」としました。

本学会のテーマは各種骨折治療の優秀さを競うことが主流となっていますが、それぞれの治療法に固有の、あるいは各種治療に共通した(潜在する)盲点や危険性について集中的に議論されることはあまりありませんでした。しかしながら、骨折治療を安全かつ安心なものとするには、手術待機期間中、手術中、さらには、保存療法も含めた経過期間中の合併症や、偶発的事故にいかに対処するかが大変重要な課題となってきます。これらの合併症対策などについてのノウハウは、あまり公式に語られることはなく、各施設内での経験談として語り継がれてきたり、ある特定のインプラントについての経験として医療機器メーカーから提供されてきたというのが実態と思われます。今回の学会では、可能な限り治療上の困難を経験した症例に触れて頂き、その解決策を示していただくことで、より安全・安心な骨折治療が提供されるような体制が整備されることを願って、テーマを選びました。

もちろん例年通りに、各種の骨折治療法の優秀さを示す多くの報告が行われることを期待しております。また、同時に治療経過中に困難例の経験があれば、報告に含めて頂き、参加者全員での対処法の共有につながることを期待しています。

招待講演としましては、ISFRの会長 Peter Augat 先生に大腿骨の骨癒合の演題でお話し頂き、パネルにも参加していただく予定です。前々会長の吉田健治先生には、安全・安心の骨折治療のお話を頂きます。例年参加されてお馴染みの Stedfelt 先生にも、今回はスポンサーに囚われない自由な立場での講演をしていただく予定です。Watershed lineの提唱者で、長母指屈筋腱の損傷の可能性の少ない掌側ロッキングプレートの開発者として知られる Jorge L Orbay 先生は論文では大変よく知られた方ですが初来日のようですので皆様の関心が高い講演となるかと思えます。隣国、韓国からは Young Ho LEE 先生にご講演をいただきます。

パネルや、シンポ、ディベートなどにつきましては、確定していない部分を含んでいますが、新鮮骨折に対する LIPUS の効果、AO、AIDO などの大規模症例集積を行っている機構での合併症や、インプラント破損の情報の処理と治療への還元法、各種インプラントの設計法にこれまでの経験がどのように活かされているか、などのテーマを検討中です。

民間病院勤務医による開催ですので、ご不便をお掛けすることも多々あるかとは思いますが、多数のご演題と、活発な討論を期待しております。

パシフィコ横浜は多くの学会で利用され、新鮮味にはかける会場であるかもしれませんが、羽田に近く、北海道からのアクセスは良好な会場であると思えます。これまでの学会を上回る多数の方が参加してくださることを願っております。

第37回 日本骨折治療学会 開催および演題募集のご案内

会 期：2011年7月1日(金)・2日(土)
会 場：パシフィコ横浜
会 長：佐々木 孝 (済生会神奈川県病院整形外科)
テ ー マ：「安全・安心の骨折治療」

シンポジウム・パネルディスカッション： (一部指定演者)

骨粗鬆症治療と骨折
人工関節周辺骨折

主 題：

1. 新鮮骨折に対する LIPUS
2. 脊椎椎体骨折に対する椎体形成術
3. 上腕骨近位部骨折
4. 上腕骨遠位部骨折
5. 橈骨遠位端骨折
6. 大腿骨頸部骨折 ～人工骨頭 vs THA～
7. 大腿骨近位部骨折
8. 脛骨顆部骨折
9. 脛骨 Plafond 骨折

演題募集：

主題，一般演題を募集します。

2011年1月15日(土)～2月14日(月)に下記ホームページからご登録下さい。

<http://www.2011jsfr.jp/>

運営事務局：

〒104-8172 東京都中央区築地1-13-1 (株)アサツーディ・ケイ メディカル事業室内
TEL 03-3547-2533 **FAX** 03-3547-2590